

金髪チャラ男に
脅迫された後輩

スマホでCG集を
見れるオマケ付き



先輩!犯して くれるっスか?

処女喪失記念
NTR写メ送信

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

先輩の家でしこたま酒飲んで酔っ払った勢いで
泥酔して意識のない先輩を全裸にひん剥き、
エロい写真を自撮りした後で先輩に送りつけて
先輩をからかって遊ぼうと企む宇崎だったが…



夜更けに先輩宅を訪れる不審な金髪チャラ男の姿があった。宇崎に男の酔い潰し方を教授した自称先輩の友人である。ガチャ。

「お、開いてんじゃーん！ 鍵開けとくように宇崎に
言っというて正解だった……ってナニやってんだ？」

「榊さん！？ なに勝手に入って来てんスかっ！！」

「楽しそうだねー？ 俺も撮影会に混ぜてくれよ」(パシャパシャ)

「ちょっ、撮るんじゃない撮るんじゃない！」

「面白い絵が撮れたから後でサクに送ってやろっかなー？」

「くっ、何のつもりっスか？ まさか先輩を酔わせる方法を
教えたのは最初から私を脅すのが目的で……」

「いや、酔っ払ってるサクをひん剥いて脅すために
恥ずかしい写真を撮ってるとか完全に予想外だったわ」

「違いますからね！ 写真撮ったのは先輩を脅すためじゃなくて
童貞の先輩に経験豊富などこ見せつけて自慢するためで…」

「ちょっとスマホ貸して…あー、確かにサクの顔は写ってないな」

「納得したんならさっさと返してくださいよ」

「これで自慢になるってのは納得できないが……ダメだな。
迫真さが足りない。こんなんじゃサクは騙せないよ」

「はア？ どうしてそんなこと言えるんスか？」

「まず表情がダメ。余裕がなくて不慣れな感じが出ちゃってる。
サクのことを本気で悔しがらせたいんなら
何でも俺の言うこと聞いてもらおうか……」





「そんなこと言って
エッチな命令するつもりっスね」

「サクは奥手でリードしてくれるタイプが
好みだから宇崎が経験豊富そうなところ
アピールすれば童貞卒業させて下さい
ってサクからお願ひしてくるだろうな」

「せ、先輩が……私に……？」



土下座してまで童貞卒業を
懇願する必死な先輩相手に
仕方なく筆おろししてあげる
場面を妄想し始める宇崎



「童貞捨てたさに
土下座までするとか
先輩にはプライドつて
もんがないんスか？」

「一生感謝して欲しいッスね、
私が相手してあげなきゃ先輩は
ずっと童貞のままだったんスから」



「ホラホラ
お情けでぼっち童貞卒業させて
もらった気分はどうッスか？」

「どさくさにまぎれて胸を触ろうと
するとか完全にセクハラッスよ先輩？」

「いくらぼっち童貞チンポだからって
雑魚すぎじゃないっすか先輩？」

「こんなんじゃない先輩がもし彼女とか作っても
すぐに振られるのがオチっすね、早漏先輩♥」

ニヤ

ニヤ

ジュッ



「おーい、聞こえてるか宇崎？」

「ハッ、榊さん適当なこと言って私にエロいことさせようと企んでますよね！ その手には乗りませんよ？」

「んー、エロいことさせてやりたいのはサクのほうなんだがな」

「何でそんなことする必要あるんスか？」

「実はサクが異性から距離を取るようになった原因に心当たりというか、負い目みたいなのがあってさ。このままだと拗らせて女性不信になるのが目に見えてるからその前に女性に対しての幻想を解消してやりたくてな」

「何だか知らないけど私が面倒見てあげてるのに先輩が女性不信になるとか絶対ありえませんかって」

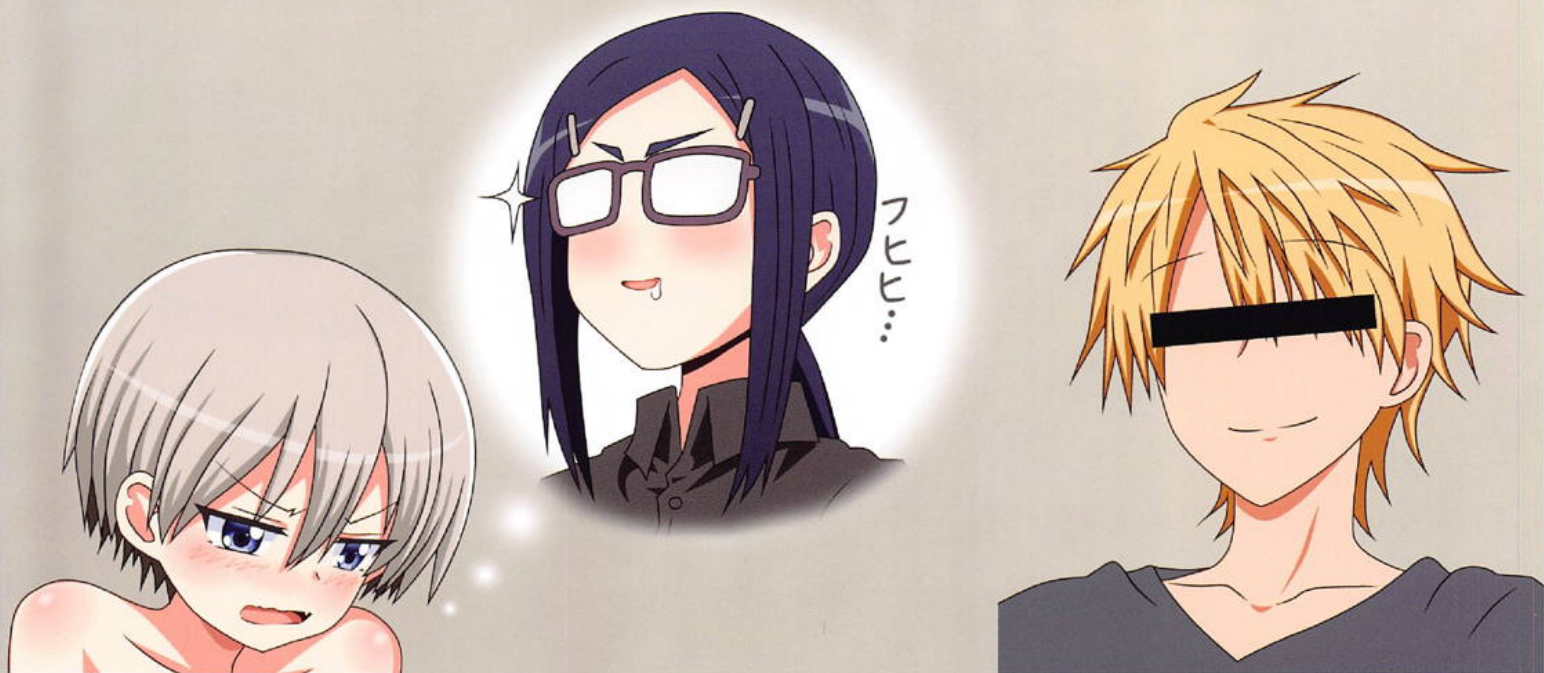
「あー…、宇崎はサクのバイト先の同僚をどう思う？」

「亜実さんっスか？ 真面目な人だと思いますけど」

「いやいやいや、アレがサクのカラダを見つめる視線で完全に肉欲に飢えた野獣の目付きになってるよね？ 合コンの幹事やらされてるとそういうのわかるんだよ」

「そ、そんなことは……でも確かに言われてみると……」

「サクみたいなタイプは初めての相手にのめり込むけどあの手の女はカラダを弄ぶだけ弄んで飽きたら捨ててまた次のに乗り換えようとする。そこは断言できる」



「で、でも亜美さんにそんな素振りはないですし」

「ヤリ捨てても後腐れないよう自分が卒業間近の時期になってからサクに手を出すつもりなんだよ。サクは真面目だから性獣と付き合い始めたら宇崎と露骨に距離を取ろうとするだろうな」

「私と先輩に限ってそんな風になったりしませんよ。それに先輩が手ひどくフラれるのがわかってるんなら私は間近で大笑いしながら慰めたいというか……」

「捨てられた後は性的なものがトラウマになってるから環境型セクハラな宇崎は特に拒絶対象だろうな」

「なんスか、その変な肩書！？ 取り消して下さいよ！」

「とにかく一発でいいから先に経験させとけばあの性獣が手を出しても変なハマり方しないだろ。代わりにサクが宇崎に告白したりしそうだけど(適当)」

「それはそれで気まずくなるし、付きあうのはちょっと」

「やらせた後、付き合うことまでは強要しないからな。振った後で慰めてもよし、飽きたら捨てるような真似さえしなきゃ宇崎の好きにしていいいんだぞ」

「従順になった先輩を好きなように……」





「サクに見せる写真撮るから、友達に頼まれて人数合わせで初めて合コンに参加したらお持ち帰りされちゃいましたみたいな感じでピースして」
「先輩を悔しがらせるためなら私は何だってやりますよ」

寝ている先輩が起きないよう、声を押し殺しながら先輩に跨って初体験。

先輩の酔い潰し方を宇崎に教えた金髪チャラ男が言うには

こうなったサクはなかなか起きないとのいふ。





こうして出来上がった写真を後日、
「これから家の猫の写真を送るッス！あれ？
間違えて別の画像送っちゃいましたか？」と
先輩に見せつけて反応を楽しむ宇崎だった。

酔った勢いで先輩レイプして処女卒業した宇崎だが金髪チャラ男が帰った後の翌朝、二日酔いになって先輩の布団を寝ゲロで汚してしまう。その数日後、うっかり装って先輩に例の写真をメール送信。後輩に彼氏がいたと勘違いして動揺する先輩。

「ナニ勘違いしてるんスか先輩？ この相手とは一回エッチしただけで彼氏とかそんなじゃないッスよ？」

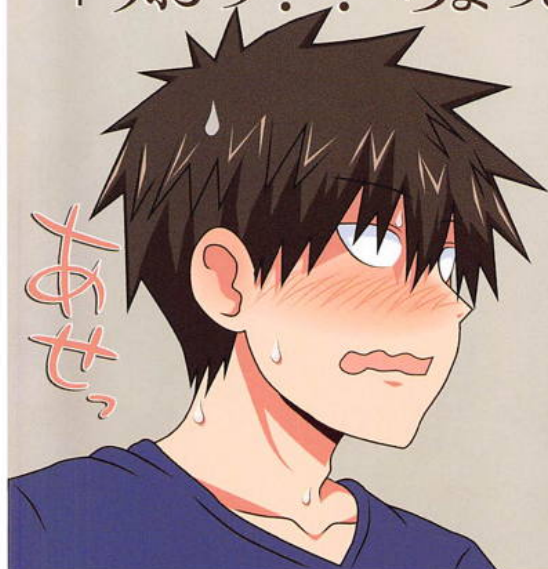
「まさか援交？ いや、それとも脅されてるのかッ！？」

「どっちもすごく失礼な発想ッスね。ムラムラした時に適当な相手で発散するとか大学生なら普通でしょ？ 今までも何度か先輩の前でもエッチのお誘いの合図出してたけど気付いてませんでした？（大嘘）」

「な、何の話だ？ まさかあの時の…あれ？…どれ？」

「ったく、これだから童貞は。ホント仕方ないッスね～。こないだ布団ダメにしちゃったお詫びに今回だけ特別に女の子の扱い方を教えてあげますよ？」

「うおっ！？ ちょっと待て宇崎、いきなり服を脱ぐなっ！」



「ホラホラ先輩も早くズボン脱いで」

「セックスに抵抗あるならフェラでも
パイズリでも構わないですけど
この機会を逃したら先輩は一生
ぼっち童貞のままツスよ?」



ぐいっ

度重なる後輩の挑発で理性を失い雄の生殖本能に支配された先輩が獣のように激しい抽送を開始し為す術もなく蹂躪されてしまう。

いざ本番となると緊張して急にへたれて受け身になる宇崎。

「あの、……先輩？
なんでさっきから
無言なんスか？
目付きもなんか
いつもより怖いし」

「ストップ、ストップ！
先輩やめっ……あッ♡」



無駄に鍛えられてる先輩の腕力の
前には抵抗もできず押し倒され、
調子に乗って先輩を煽り過ぎたせいで
一方的に主導権を握って童貞の先輩を弄ぶ
宇崎の目論見は崩れてしまう。

せめて先輩が先に射精するまでは
と必死でイクのを堪える宇崎だったが
雄の本能で孕ませようとしてくる先輩の
激しい膣内射精と同時に達してしまふ。

ひゃあ♡

や...あ♡

はっはっはっ

おっはっはっ♡

ちゅぽっ

カバッ

奥付

先輩!犯して
いいツスカ?

発行日 2020/10/18

サークル ダンナ
<http://danna.gogo.tc/>

印刷

gr@phic

落丁や乱丁の本の
連絡はこちらへ
info@landmarks.jp

オマケCG集



スマホでQRコードを
読み込めばブラウザで
CG集を閲覧できます。
AndroidやiOSの端末で
閲覧できますが
パソコンは非対応です。
(表紙のQRコードは
サンプル用です)



不慣れな先輩からかって遊ぶつもりだったのに童貞の先輩に何度も絶頂させられてしまった宇崎。正気に戻った先輩から土下座で謝られ、ゲームソフト買わせたり飯を奢らせたりしても屈辱は晴れず、後日バイト先の喫茶店にて「こないだ先輩の家でレイプされたっス」と笑顔で周囲に言いふらす宇崎に金髪チャラ男も愕然とするのだった。



サークル ダンナ
<http://danna.gogo.tc/>